

◆治水事業

- 一級河川尻別川(国管理延長24.2km)では、安全・安心な社会基盤を形成するため、令和6年3月に変更した「尻別川水系河川整備計画」や、「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を着実に推進するとともに、河川空間利用に関する情報を効果的に発信するなど、農林水産業や観光等を担う「生産空間」の維持・発展に貢献します。
- 気候変動等に伴う水害・土砂災害等の激甚化・頻発化に備えるため、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む「尻別川流域治水プロジェクト2.0」を推進し、河道掘削、地震津波対策、水害タイムラインによる防災訓練など、ハード・ソフト一体的に取り組みます。
- 令和7年度は、河川改修として洪水を安全に流下させるための河道掘削等、河川維持修繕として堤防・樋門等の河川管理施設の機能を保持するための施設の点検整備等を実施します。



事業別	地区別等	事業の概要
河川改修	尻別川	河道掘削 等
河川維持修繕	尻別川	堤防管理、水閘門等維持管理、河川巡視 等



◆道路事業

1. 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成

○広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備

圏域中心都市や空港・港湾へのアクセス向上、及び生産空間からの物流、観光地への人流を支える高規格道路ネットワークの整備を推進します。



○北海道型地域構造の保持・形成に向けた物流効率化支援

北海道型地域構造の保持・形成を図るため、地方部の生産空間で生産される農産品の消費地への輸送や、地方部への日用品等の輸送といった物流の効率化を支援します。

2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

○「シニックバイウェイ北海道」の推進

「シニックバイウェイ北海道」において、魅力ある道路景観を地域の重要な観光資源の一つとして確立するため、特に魅力的な区間について、景観の維持・形成、情報発信を重点的に推進するシニックバイウェイ「秀逸な道」の取組を引き続き推進し、地域との協働を通じて生産空間のコミュニティ維持を推進します。

小樽開発建設部は、管内の「支笏洞爺ニセコルート」の活動と連携した取組を推進します。

○サイクリツーリズムの推進

世界水準のサイクリツーリズム環境の実現に向け、「羊蹄ニセコエリアサイクリルート」では、ルート協議会(羊蹄ニセコ自転車走行協議会、通称YNCA)を中心に地域と連携し、安全で快適な自転車走行環境の改善やサイクリストの受入環境の充実、情報発信および地域独自の取組など、官民一体となって推進します。また、道路空間を安全に共有する「シェア・ザ・ロード」の意識醸成に向けて多様な主体と連携した取組を推進します。



3. 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくり

○災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格道路の整備や、道路斜面・盛土等の防災対策を推進します。

また、「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」(令和2年12月閣議決定)を踏まえ、「防災・減災、国土強靭化に向けた道路の5か年対策プログラム(北海道ブロック版)」を令和3年4月に策定し、耐災害性の強化や災害時におけるネットワーク確保のため防災震災対策や高規格道路のミッシングリンク解消を推進します。



国道229号 島牧防災

○防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化について、低コスト技術等を積極的に導入しつつ、事業のスピードアップを図ります。



国道229号 余市駅前電線共同溝

○社会経済活動を支える道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

○冬期交通の確保

冬季の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。また、大雪・暴風雪時の取組として、道路管理者間で連携した高速道路通行止め時の並行路線対策やラジオ放送・SNSを活用した情報発信、TEC-FORCEの派遣による自治体支援などを円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。

○交通安全対策の推進

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」を推進するとともに、自転車事故の危険性が高い区間については、自転車走行空間整備を計画的に推進します。

また、通学路や未就学児の移動経路において、子供の安全な通行を確保するための対策を関係機関と連携して推進します。



冬期交通の安全確保



橋梁の老朽化対策（床版補修）



交通安全対策（交差点改良）

○「道の駅」の防災拠点化

近年、激甚化・頻発化する自然災害に備え、各地で広域的な復旧・復興活動の拠点整備が進められており、地域防災計画に位置付けられた「道の駅」において、地域の防災力向上に資する防災拠点の整備や機能向上を図っています。

令和3年6月には地域防災計画等で、広域的な防災拠点に位置付けられている道の駅のうち、小樽開発建設部管内では「ニセコビュープラザ」が「防災道の駅」に選定されています。また、広域災害応急対策の拠点となる防災機能を有する道の駅の駐車場を「防災拠点自動車駐車場」として、「ニセコビュープラザ」、「230ルツツ」の2駅が令和4年3月に指定されています。

「防災道の駅」をはじめとする地域防災計画に位置付けられた道の駅においては、更なる防災機能強化に向けて、BCPに基づく防災訓練等について重点的に支援していきます。

4. 路線別主要事業一覧

路線名	主 要 事 業	
国道5号	高規格道路の整備	蘭越俱知安道路(ニセコ～俱知安) 俱知安余市道路(俱知安～共和) 俱知安余市道路(共和～余市)【うち仁木IC～余市IC 延長3.3km 令和7年3月23日開通】
	無電柱化	俱知安地区電線共同溝、小樽花園電線共同溝、小樽花園第二電線共同溝
	交通安全対策	高砂交差点改良(俱知安町)
	老朽化対策	道路構造物修繕(橋梁、トンネル)
国道229号	防災対策	島牧防災
	無電柱化	余市駅前電線共同溝
	交通安全対策	朝日町交差点改良(余市町)
	老朽化対策	道路構造物修繕(橋梁、トンネル)
国道230号	交通安全対策	川上中央帯整備(喜茂別町)、尻別路肩改良(喜茂別町、留寿都村)【令和7年度新規事業化】
国道276号	交通安全対策	国富路肩改良(共和町)、北岡路肩改良(京極町)【令和7年度新規事業化】
国道337号	交通安全対策	銭函3丁目交差点改良(小樽市)
国道393号	交通安全対策	落合視距改良(赤井川村)【令和7年度新規事業化】